



ヒューマンコミュニケーショングループ  
Human Communication Group

ニュースレター

2005 年度 No.1

URL: <http://www.ieice.org/hcg/jpn/>

#### Contents

- ・ 新運営委員長挨拶
- ・ 第10回 HCG シンポジウム報告
- ・ 協賛行事等のご案内
- ・ 情報保証ワーキンググループ活動報告
- ・ 研究会・関連行事カレンダー

### これからの情報化社会のあり方を考える HCG

平成 17 年度ヒューマンコミュニケーショングループ運営委員長

乾 敏郎(京都大学)



平成 17 年度の運営委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

平成 7 年より発足しましたヒューマンコミュニケーショングループも 10 年を過ぎ、大きく成長して参りました。現在の会員数は約 1000 名です。今年度は、4 つの第 1 種研究会すなわち、ヒューマンコミュニケーション基礎研究会(HCS)、ヒューマン情報処理研究会(HIP)、マルチメディア・仮想環境基礎研究会(MVE)、福祉情報工学研究会(WIT) と第 2 種研究会 Web インテリジェンスとインタラクティブ研究会(WI2)が活動しております。秋には第 3 種研究会も 1 件立ち上がる予定です。

現代社会は、高度な情報化が進む一方、人間の心の問題を中心とするさまざまな社会問題が生じています。本ヒューマンコミュニケーショングループはこのような人間社会の問題を直視し、少なからずその解決に貢献しなければならないと考えております。それができるのは電子情報通信学会では

我々のグループをおいて他にはありません。

昨年度は西田豊明委員長を中心に、グループ活動に必要な情報基盤の整備を中心とする透明化を行なわれ、ホームページの改訂も大幅に行われました。また、情報保障WGを立ち上げ、従来の情報保障方式の実践的評価や投稿時の情報保障に関するガイドライン「学会論文作成・発表アクセシビリティガイドライン」作成を中心とする活動を行なわれました。本年度は前年度の成果をふまえて、以下のような活動目標を立てています。

まずこれまで各研究会は活発な活動をされていますが、研究会間の横断的活動の推進が必要かと考えます。そのため何度か研究会委員長の会合を持ちたいと考えております。また本グループの成果を広く情報発信できる場として、電子情報通信学会の論文誌におけるヒューマンコミュニケーション特集号の企画を推進する必要があると考えます。また、情報保障マニュアルなどを研究会を通じて実践していくことなど、情報保障に関する検討の推進を行いたいと考えております。

冒頭にも述べましたように、ヒューマンコミュニケーショングループは設立以来 10 年を経過しました。今後グループの存在意義など原点に立ち返ってこの分野のさらなる発展のためにどのような方向で活動を推進していくべきかなど、皆様からのご意見を賜りながら検討していきたいと考えております。ご協力のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

## 第10回 ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)シンポジウム報告

佐藤 誠(東京工業大学)

ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)では、毎年の恒例となっているグループシンポジウムをこの3月24、25日に総合大会と会場を同じくして大阪大学豊中キャンパスにて開催しました。

HCG傘下の4研究会の研究会と第2種研究会「Web インテリジェンスとインタラクション」が同時開催の形で行いました。5研究会となったこともあり、今回は昨年(71件)を大幅に上回る87件もの発表が行われ、多くの参加者による活発な質疑が行われました。また、優秀研究会論文を表彰する「ヒューマンコミュニケーション賞」の贈呈式も24日待兼山会館での懇談屋食会の場にて行われ、受賞者には乾敏郎副委員長より賞状と記念品が贈呈されました。

また、シンポジウムに関連し本会総合大会でのHCGグループ特別企画として、チュートリアル「マッシブセンシング:大規模センサ群の人間社会への展開」と講演/パネルディスカッション「誰でも参加できる学会を目指して:情報保障ワーキンググループの活動報告」の二つの企画が行われました。講演では、手話落語で著名な関西演芸家協会会長の桂福団治師匠をお招きして、手話との出会いや身の回りの情報保障などについて、実際の手話落語を交えて楽しくお話を頂きました。

なお、次回の日程は06年3月22~23日であり、総合大会(06年3月24~27日、於国士舘大学)に先立ち、東工大岡山キャンパスで行われる予定です。奮ってのご参加をお願いします。

### 協賛行事のご案内

ヒューマンコミュニケーショングループは、第1回デジタルアニメコンテンツシンポジウムに協賛します。シンポジウムは下記の内容で開催されます。

日時:2005年9月26日 11:00~18:00

場所:東京国際フォーラム D409会議室

テーマ:クリエイターと技術者のコラボレーション実現に向けて

### 目的:

デジタルアニメーションラボ(DAL)では、制作現場の生の声を反映した“本当に役立つアニメ制作の道具立て”を構築することを目的に2004年10月に活動を開始した。第1回目の開催となる今回のシンポジウムでは、技術的な視点を軸に、映像制作現場の方々とのディスカッションを通じて、今後の具体的な活動の指針を得ることを目的としている。また、この場が制作者と技術者のコラボレーションを実現する一助となることも目指している。

プログラムでは、国内外の映像制作現場で活躍する講師を招き、アニメーション制作の現状と将来を展望する。また、現在DALで進行中の技術研究の紹介を交えながら“デジタルアニメに対する期待”をメインテーマに、映像制作者と技術者の双方の視点から意見交換を行う。

対象:デジタル映像関係の技術研究者、開発者、ならびに映像制作関係者

### HCGシンポジウムに関して

HCGシンポジウムを下記の要領で開催致します。日程などの情報は下記の通りです。

日程:2006年3月22日~23日

場所:東京工業大学(大岡山キャンパス)

### 情報保障ワーキンググループ 活動報告

HCG情報保障WGリーダー/WIT顧問

岡本 明

#### 1. はじめに

近年、福祉情報機器関連の研究開発が盛んであるが、真に役に立つ研究開発には、当事者ユーザーである障害のある人の積極的な参加が望まれる。しかし障害のある人の学会や研究会への参加は非常に少ない。要因として情報保障が不十分なことが挙げられる。HCGでは改善を検討することとし、学会理事会に「大会、研究会等における情報保障モデルの確立~誰でも参加できる学会を目指して」を提案、500万円の活性化基金利用を承



認して頂いた。そして2004年4月、HCG内に「情報保障WG」を設立し、各種の情報保障試行や、ガイドライン・マニュアル作成などを行なった。

## 2. WGの活動と成果

計6回のシンポジウムや研究会(福祉情報工学研究会(WIT)研究会4回、HCGシンポジウム、FIT)で、次の試行と評価を行なった。とくに数名の障害のある方にも参加・評価を依頼した。

(1)従来の情報保障方式の洗い出し、経費・効果検証: 手話通訳、パソコン/手書き要約筆記、論文アブストラクト点訳(修正済)、指点字通訳

(2)新しい情報保障システムの可能性調査: 音声認識字幕システム、遠隔手話通訳・字幕システム、論文自動Web登録・全文粗訳提供、画面手元配信(拡大・配色変更用)、指点字システム、点字ディスプレイシステム

(3)WITのWebページのアクセシビリティ見直し、改善

(4)論文作成・発表時のアクセシビリティガイドライン作成

(5)主催者のための情報保障マニュアル作成

全体的な知見・成果としては次のようなものが得られた。

・情報保障の重要性: 参加者からは肯定的な意見が多く、とくに障害のある方からは今後の展開を期待する声が多かった。他研究会・学会でも本活動を例に情報保障を拡充する動きが出てきた。

・各種の情報保障のノウハウ蓄積: 手話通訳、要約筆記それぞれの利点、課題が明らかになった。聴覚障害のある方からは、両方の同時提供が望ましいとの意見が出された。全文の点字粗訳は、誤りはあるがミニマムの情報保障としては役立つという評価であった。しかし視覚障害のある人が真に欲するのは点字データではなく「電子化テキスト」であることが確認された。また新しい情報保障システムの可能性と課題が抽出され、研究課題を提示することができた。なお、論文自動Web登録・点訳の著者校正システムは、試作したが実稼動には至らなかった。その他多くのノウハウが蓄積され、他研究会・学会からの依頼に応じて情報提供を行なっている。

・著作権、特許、学会のシステム等への対策

の必要性: 情報保障のためには原稿を事前に電子ファイルで入手する必要があるが、現状いくつかの壁がある。また電子化テキストの提供を検討すべきである。

・「学会論文作成・発表アクセシビリティガイドライン」の作成: 発表者・聴衆の協力が必要であることが確認された。それを踏まえて、①論文作成ガイド、②スライド等の作成ガイド、③発表時ガイドを作成し、WITのWebに公開した。現在、アンケートや通訳者のコメント等を元に改定を進めている。他学会等では、3月の科研「特定領域研究:情報福祉の基礎」の成果報告会で試行した。また9月のHI学会HIS2005での試行を予定している。本年度末には改定バージョンを公開する。

・「情報保障マニュアル」の作成: 主催者用マニュアルとして、①手話通訳、要約筆記手配マニュアル、②点字資料手配マニュアルに、情報保障確保のノウハウや、全国の手話通訳・PC要約筆記、点字資料作成の依頼先リスト等の情報を盛り込んだ。HCG内の研究会で利用が始まっている。

・WITのWebページのアクセシビリティ改善を行なった: 専門業者に委託して見直し、改善を行なった。このノウハウは今後他研究会や学会のWebページに反映できる。

・普及・啓発活動: いくつかの新聞、放送でWGの活動が報道された。成果の発表は2004年度のFIT、総合大会のイベント企画、および本年7月のHCII05で行なった。他研究会・他学会への展開も進めた。また本学会誌2006年3月号「コミュニケーション支援特集」に解説論文を掲載する。

## 3. 今後の展開

活性化基金利用の「情報保障WG」は昨年度で終了したが、HCG内でWGを継続することが先のHCG拡大運営委員会で決定された。今後の活動のポイントは次のようなものである。

(1)普及・啓発活動(他研究会・他学会への展開、情報保障に対する啓発)

(2)「学会論文作成・発表アクセシビリティガイドライン」改定、「情報保障マニュアル」公開・試行、「研究倫理ガイドライン」(計画したが未着手)作成。

(3)学会のシステムの改善提案

(4)論文自動Web登録・点訳の著者校正システムの検討

ヒューマンコミュニケーショングループ研究会・関連行事カレンダー

詳しくは、HCG ホームページ <http://www.ieice.org/hcg/jpn/> をご覧ください。

— 2005年9月 —

- ★マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)研究会  
【期日】2005年9月1日(木)～2日(金)  
【会場】はこだて未来大学  
【題目】仮想都市、複合現実感、および一般  
【共催】
- ★Web インテリジェンスとインタラクション(WI2)研究会  
【期日】2005年9月1日(木)～2日(金)  
【会場】広島市立大学  
【題目】情報可視化
- ★第4回情報科学技術フォーラム(FIT2005)  
【期日】2005年9月7日(水)～9日(金)  
【会場】中央大学  
【HP】<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/>
- ★ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)研究会  
【期日】2005年9月26日(月)  
【会場】大阪大学中之島センター  
【題目】社会心理学および一般

— 2005年10月 —

- ★ヒューマン情報処理(HIP)研究会  
【期日】2005年10月20日(木)～21日(金)  
【会場】琉球大学  
【題目】「手」およびヒューマン情報処理一般  
【共催】日本バーチャルリアリティ学会、手と脳研究会と共催
- ★福祉情報工学(WIT)研究会  
【期日】2005年10月27日(木)～28日(金)  
【会場】東京大学  
【題目】福祉と音声処理／一般  
【共催】SPと共催

— 2005年11月 —

- ★マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)研究会  
【期日】2005年11月24日(木)～25日(金)  
【会場】奄美大島  
【題目】マルチメディアと仮想環境基礎一般
- ★ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)研究会  
【期日】未定  
【会場】琉球大学  
【題目】未定
- ★Web インテリジェンスとインタラクション(WI2)研究会  
【期日】未定  
【会場】東京  
【題目】未定

— 2005年12月 —

- ★ヒューマン情報処理(HIP)研究会  
【期日】未定  
【会場】東北大学  
【題目】「感性情報の受容と生成」およびヒューマン情報処理一般  
【共催】東北大学電気通信研究所音響工学研究会

— 2006年1月 —

- ★福祉情報工学(WIT)研究会  
【期日】2006年1月12日(木)～13日(金)  
【会場】放送大学愛媛学習センター  
【題目】福祉と知能・認知障害／一般  
【共催】TLと共催
- ★マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)研究会  
【期日】2006年1月26日(木)～27日(金)  
【会場】別府温泉(リゾートピア別府)  
【題目】通信品質やヒューマンファクタを考慮したモバイルネットワークおよびVRアプリケーションの構築、および一般  
【共催】CQ, MoMuCと共催
- ★ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)研究会 & ヒューマン情報処理(HIP)研究会  
【期日】未定  
【会場】大阪大学  
【題目】未定  
【共催】未定
- ★Web インテリジェンスとインタラクション(WI2)研究会  
【期日】未定  
【会場】東京  
【題目】未定

— 2006年3月 —

- ★福祉情報工学(WIT)研究会  
【期日】2006年3月22日(水)～23日(木)  
【会場】東京工業大学(大岡山キャンパス)  
【題目】未定  
【備考】HCGシンポジウムの一環として開催
- ★HCGシンポジウム  
【期日】2006年3月22日(水)～23日(木)  
【会場】東京工業大学(大岡山キャンパス)  
【備考】